

(別紙4-1)(ユニット2)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0177500147		
法人名	有限会社 やすらぎ		
事業所名	グループホーム コスモス		
所在地	滝川市屯田町西1丁目2番8号		
自己評価作成日	平成28年2月15日	評価結果市町村受理日	平成28年3月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0177500147-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1 あおいビル7階
訪問調査日	平成 28 年 3 月 9 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が「その人らしく」生活できるように個別ケア・チームケアを理解し実践に繋げ、日々の生活を楽しくその人らしく過ごして頂いております。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

Ⅴ サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します									
項 目		取組の成果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓ 該当するものに○印			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と		
			2 利用者の2/3くらいの				2 家族の2/3くらいと		
			3 利用者の1/3くらいの				3 家族の1/3くらいと		
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない		
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように		
			2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度		
			3 たまにある				3 たまに		
			4 ほとんどない				4 ほとんどない		
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている		
			2 利用者の2/3くらいが				2 少しずつ増えている		
			3 利用者の1/3くらいが				3 あまり増えていない		
			4 ほとんどいない				4 全くいない		
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が		
			2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが		
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが		
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない		
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が		
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが		
			3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが		
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない		
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が		
			2 利用者の2/3くらいが				2 家族等の2/3くらいが		
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが		
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が						
			2 利用者の2/3くらいが						
			3 利用者の1/3くらいが						
			4 ほとんどいない						

有限会社 ぷ

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護理念や施設理念に基づき、地域の方々の協力を得ながら利用者様により良い介護の提供が出来るよう、向上心を持ち日々努めています		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新年会や、行事、町内会の役員等もさせていただきながら地域との繋がりを持ち、お互い理解、協力をしながら交流させて頂いております		
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会や地域の活動や施設の行事等にお互い参加しあい、認知症の方への理解を求め、大人の方だけでなくお子様も気軽に訪問して頂けるよう活動しております		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度運営推進会議を開き報告をし意見等を聞き、利用者様だけではなく、ご家族に対するサービス向上に繋げております		
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の担当者だけではなく病院や他の施設などとも連携し、ケアサービスの向上に繋げております		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、内部研修や外部研修への参加を全職員に促し、知識を得て拘束をしないといけない意識を持ち、身体拘束をしない介護を行っております		
7	7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止委員会を設置し、施設全体でお互い意識を持ち虐待防止に努めております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご家族のいない利用者様や、必要のある利用者様等には他職種、市町村などとも連携を図り、個々に必要な支援をさせて頂いております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談や利用相談の段階から十分に説明し理解と納得をいただき、安心して過ごして頂けるよう対応させて頂いております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に話し合いができる機会を設け、ご家族様・利用者様等からの意見や要望をより良いものに反映出来るよう努めております		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見や提案を聞き、精査し運営に反映出来るように努力しております		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況の把握、意見や要望を聞き仕事に対する生きがいや、向上心が持てるような職場環境や条件などの整備に努めております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	さまざまな外部研修や内部研修への参加を促し、時間や勤務等の調整を行い必要とされるスキル習得に努めております。また得たスキルを他の職員にも伝えケアの向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	職員交換研修や外部研修での懇親会等への参加などを利用し、交流や勉強会を行いお互いのサービスの向上に繋げております		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	受容と傾聴を心掛け、利用者様のの一言一言を受け止め安心と信頼に繋がるように努めております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が相談や要望を話せる環境を作り、些細な事でもご家族様からの要望を伺い。安心して頂けるように努めております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様の状態の変化に応じてその都度必要とされるサービスの見直しを多職種で行い、精査し、支援させて頂いております		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護理念に基づき「共生、共存」をモットーにし疑似家族の関係を築けるよう、気持ちよく生活できるよう努力しております		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との連携を密に図り細やかな支援に努め、誕生会や施設の祭り、その他の行事等にも参加して頂き利用者様とご家族様が大事な時間を一緒に過ごせるよう努めております		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様やご家族様からのお話を基に利用者様の「昔」を大事にし、「今」にあった支援に努めております		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が楽しんで頂けるように、全員の利用者様の表情やしぐさを把握し、孤立する事が無いように状況に応じて職員が介入するなどの関わりを持って支援させて頂いております		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても行事の案内や連絡等を行い必要に応じて相談や支援を行っております		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様より意見や要望などを毎月聞き取りケアプランに繋げるように努力し、自分の思いを伝える事が困難な方はご家族様も含め利用者様の気持ちを十分に考え、本人本位に検討しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	相談の段階からのその人の情報を個人記録に綴り、ご家族からの聞き取りも行い状況や情報の把握に努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の介護記録で過ごし方や身体状況などの把握が誰もが出来るようにし、その人らしい暮らしが安心して出来るように支援しております		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やご本人、また必要と思われる職種の方と連携しその利用者様にあったケアプランの作成に努めております		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状況や状態にあった介護記録への記入を行い、職員が情報を共有し、カンファレンス等を利用し利用者様が安心できる対応の検討に繋げております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々に担当者を設け、家族との連携でご本人の状態や状況の報告を行いご家族からの要望も伺い、細かい支援に繋げております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人らしく生活して頂けるように、認知症の緩和、またADLやIADLの維持に繋がりますように安全・安全に暮らして頂けるように支援しております		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族が安心して頂けるように医師や看護師等と連携し適切な医療が受けられるように支援しております		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師との情報の共有を行い、いつでも相談できる環境を作っています。また受診報告を記録し職員全員が把握し、対応できるようにし、支援しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には情報提供を行い、退院に向けては退院調整会議を開いて頂き、出来る限りご本人が安心して治療に専念して頂けるように医療機関の方々と連携し支援しております		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	事業所として最大限出来る事を説明し、ご家族様やご本人様と話し合いを行い関係機関と連携し、支援に取り組んでおります		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が施設内研修で対応法を確認してり、救命救急の講習を受け緊急時に対応出来るようにしております		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	あらゆる状況を想定し、避難訓練や図上訓練等を行い緊急時の町内会の協力体制の構築を図っております		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人その人にあった声掛けや対応を行い、またプライバシー保護に気を配り、その人らしく過ごして頂けるように支援しております		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	内発的行動に繋がるように声掛けを行い、その人が自己決定出来るように支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	その人その人のライフスタイルを尊重しながら、サービスを提供し、その人にあった時間の過ごし方で支援しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の服装は季節にあった物を自由に選んで頂き、ご本人が不快に感じない装いができるよう支援しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	五感で楽しめれるように利用者様と工夫をして調理し、また季節の旬の食材を取り入れ楽しんで頂いています。また盛り付けや後片付け等も一緒にに行い支援しております		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事の摂取量の確認をし個々にあった必要量を看護師と相談しながら摂取していただいております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の声掛けを行い、口腔ケアを行っています。毎日就寝前には入れ歯の消毒の実施を行っております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の排泄パターンを把握し、必要に応じて声かけを行い、トイレでの排泄を支援しています。また状況に応じて夜間のポータブルトイレの使用やパッドの使用を行っております		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の改善に繋がるように運動や体操を行ったり、食事や水分等も摂取して頂いております		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている	曜日や時間等は決めずに、入りたい時間にご本人様の気持ちよく感じる湯温でゆったりと入浴して頂き、入浴補助具等の使用でご本人様の安心と安全を心掛け支援しております		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様一人一人の状況や体調にあった休息と入眠の支援を心掛けております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や看護師と連携し、服薬の確認や状況の報告を行い対応しております。また職員も一人一人の薬の用法や目的などを理解し安全に服薬出来るよう対応しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の出来る事への声掛けや役割等を考え、毎日の生活がめりはりのあるものにし、生きがいや、楽しみ、気分転換に繋げ支援しております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様と連携しながらご自宅への外出や送迎、仏壇へのお供えの買い物、行事等で外食や外出を企画したり支援しております		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一緒に買い物に出かけたり、施設横に自動販売機を設置し購入して頂けるように支援しております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る限りご家族様と連携しご本人様の希望に沿って支援しております。郵便物が届いた時には電話をしてお礼を伝えたり、手紙の返事を書きます。またレクで作成した絵手紙などを郵送するなど行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が作成した製作物を飾ったりその月や季節、行事にあったレイアウトを行い、光や温度・音など不快にならないように配慮した工夫をしております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子等の設置をし、個人で過ごせる環境、好きな利用者様と過ごせる環境を提供し、好きな時間を過ごせるよう工夫しております		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた物を入居時に持参して頂き、ご本人様が居心地良く生活して頂けるように対応させて頂いております。また身体状況の変化に応じて持参して頂いたものを活用できるよう工夫しております		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人様が出来る事や解る事を声掛けてADLの維持に努めています		